

企画提案に係る審査基準

団体名 ()
記入者氏名 ()

評価項目 (配点)	評価の視点	評価点 5点満点
業務の 実施方針・ 実施計画 (25点)	①事業目的の理解度 ☐ 加害者に自らの暴力の責任を自覚させるという目的について十分理解している。	
	②事業実施に当たっての専門的知識・技術 ☐ DV当事者支援の経験を持ち、DVによる加害行為等に対し専門的知識・技術を有している。	
	③目標達成に向けた実施方針の明確性 ☐ 企画提案書の構成に工夫があり、実施方針が明確に示され、全体として意欲が感じられる。 ・事業実施に向けての効果的な手法の提示	
	④実施計画の妥当 ☐ 履行期限までの工程が検討されており、妥当な計画になっている。	
	⑤提案内容の独自性 ☐ 団体のノウハウや情報を活用して検討した提案内容で、独自性・斬新性がある。	
業務の 実施体制・ 実施手法 (20点)	①実施体制 ☐ 業務が円滑に進むよう必要・十分な人員を配置している。 ・DV加害者の心理状態に精通しているファシリテーター等 ・統括責任者	
	②実施手法 ☐ DV加害者である参加者の心理状態に通じており、プログラムの実施方法に具体性がある。 ☐ 提案されている実施手法が現実的であり、十分に実施可能なものである。	
	③個人情報の適切な管理 ☐ 参加者のプライバシーの保護や安全の確保	
	④過去実績 ☐ 過去に同種・同規模のプログラムを契約した実績がある。 ・過去実績より、プログラム実施による事業目的達成の見込みがある。	
団体の 財務的 健全性 (5点)	①団体の財務的健全性・業務受託実績、見積書及び見積内訳書の積算方法 ☐ 事業を実施するために必要な財務的基礎を有している。 ☐ 見積書及び見積内訳書の積算は執行予定額以内であり、妥当な積算方法である。	
計		

評価方法

(1) 各評価項目について、5段階評価を行う。

(2) 各評価項目は5点満点とする。

5：優れている

4：やや優れている

3：普通

2：やや劣る

1：劣る